



広尾の季節 [秋] ～収穫され、出荷を待つビート (10月28日 撮影)



ひろお

議会だより

No **175**

2015年12月1日発行

ひろおサンタメール
申込は12/10(木)まで!



「愛と平和 感謝と奉仕」
サンタランドのまち 広尾町

【平成27年第3回定例会】

**大型事業実施で借金残高増
町の財政は「健全」と判断
一般質問** (5人が登壇)

H26決算認定

健全化判断比率

2

6

／出産祝金／ゴミ処理／体力づくり

12

産業常任委員会 **漁協冷凍・冷蔵施設の現状は**

18

○発行・編集／ 広尾町議会・議会広報特別委員会 E-mail g-gikai@town.hiroo.lg.jp

〒089-2692 北海道広尾郡広尾町西4条7丁目 TEL 01558-2-0180 (議会直通) FAX 01558-2-2114

実施で借金残高



町税収入は 1 億円の増加

平成27年
第3回
定例会

9/4~18

一般会計収入(歳入)合計 81億3947万円

自主財源	町税	9億3599万6853円 (11.5%)
	分担金及び負担金	2億3773万4986円 (2.9%)
	使用料・手数料	1億9923万1433円 (2.5%)
	その他収入(※1)	4億8944万5350円 (6.0%)
依存財源	地方交付税	39億3874万4000円 (48.4%)
	国庫支出金(国からもらうお金)	3億4724万3297円 (4.3%)
	道支出金(北海道からもらうお金)	2億6449万8622円 (3.2%)
	譲与税等(※2)	2億5427万8222円 (3.1%)
	町債(借金)	14億7230万円 (18.1%)

平成27年第3回定例会は、9月4日(金)から18日(金)までの15日間の会期で開かれました。平成26年度決算認定(一般会計ほか9会計)のほか、条例の制定・改正、教育長の選任、平成27年度補正予算などが提案され、本会議・委員会での活発な審議の結果、全議案を原案のとおり可決しました。

※議案審議結果は9ページに掲載

※1 その他収入～財産収入・寄付金・繰入金・繰越金・諸収入

※2 譲与税等～地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

平成26年度各会計収支(歳入・歳出)一覧

会計名	収入(歳入)	支出(歳出)	差し引き額	
一般会計	81億3947万2763円	79億6518万6285円	1億7428万6478円	
港湾管理特別会計	2億5308万7923円	2億5173万4963円	135万2960円	
簡易水道事業特別会計	9714万1752円	9565万694円	149万1058円	
下水道事業特別会計	5億174万9656円	5億2万1514円	172万8142円	
国民健康保険事業勘定特別会計	11億3045万5005円	11億2375万5696円	669万9309円	
介護保険特別会計	7億412万2136円	6億9090万9344円	1321万2792円	
介護サービス事業特別会計	2億5483万7340円	2億5462万8425円	20万8915円	
後期高齢者医療特別会計	1億261万2518円	1億241万3903円	19万8615円	
国民健康保険病院事業会計	収益的収支※3	8億8655万5325円	8億7929万3248円	726万2077円
	資本的収支※4	1億108万2744円	1億108万2744円	0円
水道事業会計	収益的収支※3	1億6256万6371円	1億1696万5302円	4560万1069円
	資本的収支※4	2億6448万2000円	3億5642万2645円	-9194万645円

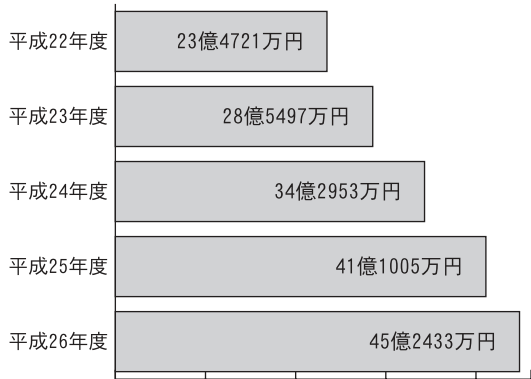
※3 収益的収支～事業活動に伴い、発生が予定されるすべての収益と費用

※4 資本的収支～将来の事業活動に備えて行う建設改良や、建設改良に要した借金の返済金などの支出と収入

平成26年度 決算審査

大型事業

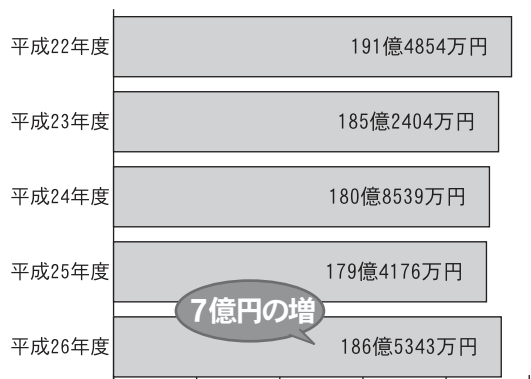
貯金（基金）残高の推移



一般会計支出（歳出）合計 79億6518万円

議会費	9167万2389円 (1.1%)
総務費	9億5323万5235円 (12.0%)
民生費	20億5089万6407円 (25.7%)
衛生費	7億2991万1663円 (9.2%)
農林水産業費	4億762万2266円 (5.1%)
商工費	2億9544万4365円 (3.7%)
土木費	11億3782万3121円 (14.3%)
消防費	4億1877万円 (5.3%)
教育費	8億4409万4622円 (10.6%)
公債費（借金返済）	10億3571万6217円 (13.0%)

借金（町債）残高の推移（全会計）



収

入の48・4%を占める地方交付税は

【一般会計決算の概要】

収入（歳入）合計額は81億3947万円（前年度比1・5%増）、支出（歳出）合計額は79億6518万円（前年度比1・5%増）となりました。

平成26年度決算審査のため、決算審査特別委員会（旗手恵子委員長）を設置し、一般会計、7特別会計、2企業会計の計10会計について、9月14、16、17日の3日間にわたり慎重に審査した結果、すべての会計を「認定すべきもの」と決定しました。その後、9月18日の本会議で討論・採決の結果、全会計の決算が認定されました。

借

金（町債）残高は合計で186億5343万円となり、前年度比4%の増。平成17年度以降減少が続いていましたが、10年ぶりに増加に転じました。保育所建設や児童会館改修など大型事業の実施が要因となっています。

貯

金（基金）は合計で前年度比10・1%増の45億2433万円となりました。港湾整備にかかる借金返済のために積み立てをしているので、貯金（基金）残高は増加している状況です。

町 税収入は前年度比14・1%増の9億3600万円となりました。徴収率は92・0%となり、昨年度と比較して1・7%の改善となりましたが、8046万円が未納となっています。

い道をチェック

**決算審査
特別委員会**
9/14, 16, 17

委員長 旗手恵子
副委員長 前崎 茂

平成26年度決算につ
いての質疑内容を抜
粋、要約してお知ら
せします。

一般会計

基金（貯金）

問 基金残高が40億円を
超えている。住民
サービスにもっと充てる
べきでは。

答 基金は繰り上げ償還
の財源や福祉関係な
ど目的に沿って積み立て
ている。まちづくり計画
に沿った事業を実施する
財源として基金を活用す
ることも検討していく。

自主防災組織

問 平成26年度に3団体
増えて17団体となつ
たが、今後の結成見込み
は。

答 27年度に2団体の組
織結成に向けた動き
があるので、支援してい

きたい。現在の組織率は
37・6%。

公衆浴場

問 平成26年度の利用者
は1万6868人と
前年に比べて2676人
の大幅減少となっている
が、その要因は。

答 大規模改修で半月ほ
ど使用できなかつた
期間があつたこと、黄金
道路の工事が終了したた
め、工事関係者の利用が
減つたことなどが要因と
して考えられる。

十勝港まつり

問 まつり負担金が年々
伸びている。財政状
況も厳しい中、金額を見
直すべきでは。

答 協賛金をなくしたこ
と、花火の充実など
で事業費が増えている。
交流人口を増やすために
も花火大会を観光行政に
生かしていく。町全体の
事業の中で必要があれば
金額を調整する。



花火大会には毎年多くの人出が

海辺の広場

問 海辺のふれあい広場
へ続く通路の環境が
非常に悪く、管理がされ
ていない。

答 壊れた木柵等の撤去
を図るなど安全策を
講じる。花火大会をそこ
で見ると多いため、環
境整備を進める。

サンタランド

問 10年前に比べると大
丸山への来訪者もか
なり増え、サンタランド
事業はまちづくりに大き
な役割を果たしているこ
ろだが、さらに集客を図
るための策は考えているか。

答 今後は集客数などに
目標を持って取り組
み、達成するために必要
なことを政策として打ち
出していく。

道路の補修

問 海産干場の道路など
町道以外の道路の小
規模な維持補修について、
建設課所管の予算で対応
できるか。



海辺のふれあい広場への通路は
立ち入り禁止に

答 町道以外の道路でも、
小規模、少額なもの
については、担当課と協
議し、柔軟に対応してい
きたい。

教員補助員

問 町内各小・中学校の
教員補助員の配置状
況は。

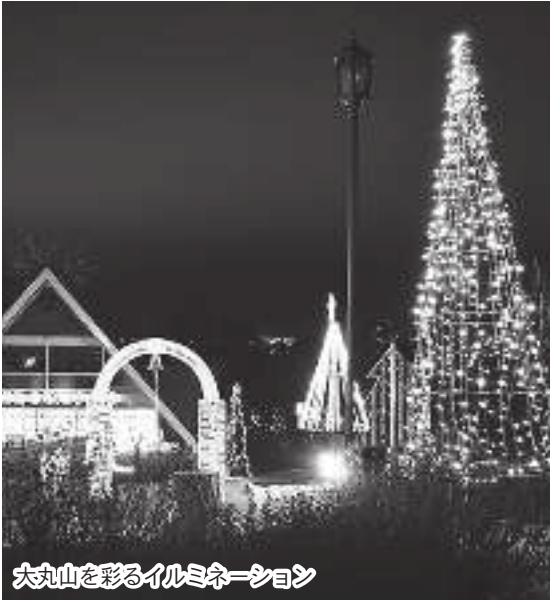
答 広尾小6名、広尾中
2名、教科指導助手
は広尾中に英語と数学そ
れぞれ1名ずつ配置して
いる。

中高一貫教育

問 中高一貫教育の取り
組みについて説明を。

答 広尾高校存続に向け
て、広尾町の教育の
特色として平成18年度か
ら中高一貫教育を導入し

税金の使



大丸山を彩るイルミネーション

た。国・道教委は小中高の連携を目指していく方針であることから、小中連携を模索する事業も実施した。広尾町の教育の特色として、中高一貫、小中連携を進めることで、広尾高校存続のため道教委へのアピールになると考えている。

固定資産税

問 固定資産税が平成25年度と比べると1億円ほど増えているが、その理由は。

答 十勝港に進出した飼料工場関連企業の固定資産税課税免除期間(3

年間)が終了し、2社からの固定資産税が平成26年度から納付されたため。

たばこ税

問 たばこ税として町に年間約7800万円入っており、貴重な収入となっているが、町内でも禁煙箇所が増えており、喫煙者に何ら配慮がないのはどういふことか。

答 喫煙者の意思は尊重するが、受動喫煙による害など、たばこの悪影響を考慮する必要があるため、公共施設では制限をしている。

介護サービス会計

看取り介護

問 平成26年度から新たに加算された「看取り介護」は何件実施して、介護報酬はいくら増加したのか。

答 看取り介護は6件実施し、介護報酬は27万6800円。

討論

4つの会計で討論が行われました。

※一般会計はP6に掲載

国民健康保険事業勘定特別会計

反対 前崎 茂委員

賛成 北藤利通委員

平成26年度に国保税の賦課限度額が引き上げられ、高額所得者と言えない人まで限度額世帯となった。国庫負担の増額なく国保財政の窮迫は解決できるものではない。よって本決算に反対する。

被保険者1人あたりの保険税は増額だが、軽減の範囲が拡大され、軽減対象者も増えている。事業運営に不可欠な経費であり、適正な運営がされていることから本決算に賛成する。

介護保険特別会計

反対 前崎 茂委員

賛成 山谷照夫委員

介護保険料の負担は大きく、必要なサービスは削減されている。高齢者にとっては負担増に耐えがたい生活実態となっていることから、本決算に反対する。

利用者負担の軽減や在宅サービス利用者への支援など、円滑な運営と高齢者福祉の増進について努力が認められることから、本決算に賛成する。

後期高齢者医療特別会計

反対 前崎 茂委員

賛成 北藤利通委員

保険料の均等割が7.9%引き上げられ、所得の低い方が負担増となった。高齢者にとって保険料の負担増は限界を超えていることから本決算に反対する。

被保険者1人あたりの保険料は増額となっているが、軽減範囲が拡大され、対象者も増えている。適切な会計運営もされていることから、本決算に賛成する。

水道料滞納

問 滞納額が390万8540円となっているが、件数と一番多い滞納者の金額は。

答 現年度分の未納者は381件。最も多い滞納額は21万900円。

水道事業会計

食材購入費

問 国保病院の給食原材料費のうち、地元での購入割合は。

答 地元購入が61.2%、地元外からは38.8%。

国保病院会計



次のページは「第3回定例会」

平成27年
第3回
定例会
9/4~18

平成26年度決算に基づく健全化判断比率

町の財政は「健全」と判断

4つの指標はいずれも基準下回る

決算に基づく町財政の「健全化判断比率」と「資金不足比率」の報告がありました。

平成26年度決算の「健全化判断比率の状況」は下の表のとおりですが、いずれも国の基準を下回っています。

また、「資金不足比率」については「資金不足なし」と報告されていますので、町財政は健全であると判断されます。

長期的な財政の安定化を

とも早期健全化基準を下回ったが、これをもって財政上何ら問題がないという点ではないので、今後も財政規律のたがを緩めることのないよう長期的な財政の安定化に努められたい。

代表監査委員
青木達彌
監査委員
浜頭 勝

監査委員からの意見

4つの健全化比率とも早期健全化基準を下回ったが、これをもって財政上何ら問題がないという点ではないので、今後も財政規律のたがを緩めることのないよう長期的な財政の安定化に努められたい。

財政健全化法に基づく「健全化判断比率」

比率名	26年度	早期健全化基準
実質赤字比率	赤字なし	14.98%
連結実質赤字比率	赤字なし	19.98%
実質公債費比率	9.2%	25.0%
将来負担比率	111.4%	350.0%

ポイント



広尾町は赤字（支出が収入を上回る）が発生していないので、「実質赤字比率」と「連結実質赤字比率」はなしとなっています。

「将来負担比率」とは将来負担すべき実質的な借金額が財政の大きさに占める割合を示したもので、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを表すものです。広尾町は十勝管内町村で一番高い数値となっています。

数字で見た広尾町の財政力（平成26年度）

項目	H26	H25		説明
財政力指数 高いほど、毎年必要なお金を自力で調達できる	0.193	0.188	増↑	毎年の行政活動に必要なお金をどれくらい自力で調達できるか示したもの。「1」に近いほど財政力に余裕がある。
経常収支比率 高いほど、自由に使えるお金が少なくなる 将来の借金返済のため積み立てた額を含めた数値	80.5% (87.7%)	79.8% (86.7%)	悪化↓	毎年自由に使える収入に対して、固定経費がどれだけかかるかの割合。
実質公債費比率 高いほど収入の多くを借金の返済に使うことになる	9.2%	9.1%	悪化↓	まちの収入に対する借金返済の割合。25%を超えると借金を制限される。

8割以上が
固定経費
財政状況は
依然厳しく

《一般会計採決結果》

賛成 9 反対 3
認定



老人ホームや特養の待機者対策も早期に講ずるべきと考え、本決算認定に反対する。

内容は、町債発行額は増加したが、財政健全化への努力が認められるものであり、本決算認定に賛成する。

反対

住民の福祉向上を

前崎 茂議員

賛成

財政健全化へ努力

山谷照夫議員

討論

（一般会計歳入歳出決算）

平成26年度決算を認定

教育長 笹原さんの選任に 同意



新たな教育委員会制度による「新・教育長」に笹原博さんを選任することに同意しました。(10月8日で笹原さんの教育委員任期が満了のため)任期は10月9日から3年間です。

法律改正で教育長は議会の同意を得て町長が直接任命すること、任期は4年から3年になるなど新制度に改められました。

固定資産評価審査委員の選任に同意

任期満了による固定資産評価審査委員の選任に同意しました。

齊藤政明さん(再任)

(並木通西1)

※任期…平成30年10月24

日まで

上野雅春さん(再任)

(西2-7)

※任期…平成30年10月31

日まで

人権擁護委員候補者の推薦

任期満了による人権擁護委員の候補者推薦を適任としました。

杉本伸子さん(再任)

(丸山通南4)

※任期…平成30年12月31

日まで

マイナンバー制度スタート

情報流出をどう防ぐのか

行政の効率化、国民の利便性の向上、公平・公正な社会の実現を目的として、国民全員に与えられた12桁の個人番号(マイナンバー)を社会各分野・税・災害対策の分野で活用する通称「マイナンバー制度」がスタートしました。10月から番号の通知が始まり、平成28年1月からマイナンバーの利用が開始されます。

マイナンバー制度の実施に伴い、広尾町が定めている個人情報保護条例の改正を行いました。

問 国の年金情報流出のようないか心配だ。基幹系システムとインターネットに接続している情報系ネットワークシステムは分離されているのか。システムを分離していても、職員による流出が起

こり得ると思うが、流出防止対策をどう取るのか。

答 国は基幹系と情報系システムの分離を推進しており、今後対応を検討していきたい。不審なメールは開かないなど、職員に対して常に注意喚起している。研修などを十分に行い、流出を未然に防ぐ体制を作っていく。

問 法律の施行日まで1か月もないが、内閣府の調査によると制度の認知度は低い状況にある。住民への周知をどのように行うのか。

答 広報9月号から制度を説明する記事を連載、ホームページに情報を掲載している。国でもポスターやテレビCMなどで周知を行っている。

問 パソコンがない高齢者も多くいる。住民説明会や老人クラブなどの団体への説明会の開催を検討しているか。

答 開催できるか内部で検討したい。

補正予算

障がい者グループホーム
建設補助金
500万円

町内の民間事業者が計画している障がい者グループホーム(1棟6室)の建設を支援します。

地域おこし協力隊

748万円

隊員3人の報酬、委嘱する業務にかかる車両費や管理費などの経費です。

(詳しくは11ページに掲載しています。)

旧施設解体撤去工事

2345万円

①老朽化が進み、危険性が高い旧施設を解体・撤去します。(音調津の旧教員住宅、旧陶芸棟)
②旧職業訓練センター解体工事を冬期の雇用対策事業とするため、関連事業費を増額しました。

その他決まったこと

- ◎水道事業会計の平成26年度未処分利益剰余金1億2785万4248円のうち、1億92万241円を自己資本金に組み入れました。
- ◎平成28年3月末の南十勝消防事務組合解散に伴い、消防団の事務を町が担うこととなることから、消防団の設置や運営方法について条例で決めました。
- ◎地域福祉の充実、拡充を目的に民間団体が実施する事業の支援費用に充てるため、町が積み立てている「地域福祉基金」の元金を取り崩して使うことができるよう条例を改正しました。(従来は基金の利子のみを充てていたもの)
- ◎町道の路線を認定しました。(紅葉通南2丁目道路、210m)
- ◎事務組合同規約を変更しました。(4組合、構成町村の変更があったもの)
- ◎議員の出産における欠席の届け出について、新たに議会会議規則に規定しました。

次のページは「意見書、行政報告、議案賛否」

安保関連法案の慎重審議を

意見書3件を可決し、国へ提出

安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書

提出者 旗手恵子議員

憲法解釈変更による集団的自衛権行使容認の閣議決定が行われ、参議院で安保関連法案が審議されている。自衛隊の活動範囲が大きく拡大され、武力行使ができるよう定められることで、任務の危険性が格段に高まるこ

とが危惧されている。

集団的自衛権について従来の立場を変えるのならば、これまでの政府見解との論理的整合性など国民へ十分な説明が必要であり、慎重な論議が必須となる。

国・政府においても参議院で安保関連法案を慎重審議されるよう強く求める。



提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、防衛大臣、外務大臣

起立採決を実施

【賛成】 7
【反対】 4



TPP交渉からの撤退を求める意見書

提出者 前崎 茂議員

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣、経済産業大臣

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者 田中 巧議員

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、復興大臣

村瀬町長からの

行政報告



※内容は要約しています。

サケ・マス流し網漁船の拿捕

7月17日にロシアに拿捕された広尾漁協所属の「第10邦晃丸」(乗組員11人)は、裁判による罰金の支払いに応じ、8月31日に解放、9月1日に十勝港に帰港した。

マツカワ稚魚の飼育事故

8月18日に楽古・野塚地区で発生した停電により、魚類飼育施設で飼育していたマツカワの稚魚2万3千匹が死んだ。夜間警備会社との連絡体制の強化などの再発防止策を図る。

町営牧場で病気発生

ダニが媒介するヒロプラズマ病でオソウシ牧場

の預託牛4頭が死亡。殺ダニ剤の塗布回数を増やすなどの対策をとる。

障がい者グループホームの建設

第2回定例会で行政報告した「共生型施設」建設にかかる国の補助金が不採択となり、事業者は障がい者グループホーム(1ユニット6部屋)単体の建設を計画。町も建設費の支援を行いたい。「500万円の補助金を補正予算に計上し、可決された。」

普通交付税の決定

平成27年度の決定額は35億4700万7000円。前年度比1.6%の減。

統合保育所の名称

町民から公募を行い、保育所統合建設検討委員会から2つの案をいただき、「ひろお保育園」と決定した。

工事請負契約の締結

①広尾小学校改修工事 契約の相手方―株式会社濱中建設(東3-12) 契約額―3024万円
②下水終末処理場機器長寿命化工事 契約の相手方―水ing株式会社北海道支店(札幌市) 契約額―3585万6000円

平成27年度は次の活動を行う。①存続要請②存続署名③高校のPR

ラズマ病でオソウシ牧場

平成27年 第3回定例会 議案審議結果

●賛否のあった議案（議案名は一部省略しています）

賛成：○ 反対：× 欠：欠席

議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議決結果
	北藤	志村	浜頭	前崎	佐藤	山谷	星加	こだ	おだ	田中	旗手	堀田	渡辺	
安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書	○	○	×	○	×	×	○	○	欠	○	○	×	—	可決 (7-4)
平成26年度一般会計決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	—	認定 (9-3)
平成26年度国保事業勘定特別会計決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	—	認定 (9-3)
平成26年度介護保険特別会計決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	—	認定 (9-3)
平成26年度後期高齢者医療特別会計決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	—	認定 (9-3)

※渡辺議員は議長のため、採決には加わりません。

●全会一致の議案（議案名は一部省略しています）

議案名	議決結果	議案名	議決結果
平成26年度広尾町港湾管理特別会計決算認定	認定	北海道市町村職員退職手当組合規約の変更	可決
平成26年度広尾町簡易水道事業特別会計決算認定	認定	平成27年度一般会計補正予算（第3号）	可決
平成26年度広尾町下水道事業特別会計決算認定	認定	平成27年度港湾管理特別会計補正予算（第2号）	可決
平成26年度広尾町介護サービス事業特別会計決算認定	認定	平成27年度簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決
平成26年度広尾町国民健康保険病院事業会計決算認定	認定	平成27年度下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決
平成26年度広尾町水道事業会計決算認定	認定	平成27年度国保事業勘定特別会計補正予算（第2号）	可決
平成26年度広尾町水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決	平成27年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決
消防団の設置、名称及び区域に関する条例の制定	可決	平成27年度介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）	可決
消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の制定	可決	平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
非常勤消防団員報償金条例の制定	可決	議会会議規則の一部改正	可決
個人情報保護条例の全部改正	可決	T P P 交渉からの撤退を求める意見書	可決
地域福祉基金条例の一部改正	可決	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	可決
町道の路線認定	可決	閉会中の委員会継続調査	可決
北海道市町村総合事務組合規約の変更	可決	議員の派遣について	可決
北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更	可決		



豊似中が69年の歴史に幕

生徒数が減少し、将来的に複式学級となることが見込まれることから、平成28年度末で閉校し、広尾中学校へ統合するとの結論に至った。地域住民にも相談し、ご理解をいただいた。

豊似中学校の統廃合

中村教育委員長からの

教育行政報告

※内容は要約しています。

議員の会議等出欠状況をお知らせします

(平成27年6月定例会終了後～9月定例会まで)

(1) 定例会・臨時会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	北藤利通	志村國昭	浜頭勝	前崎茂	佐藤春一	山谷照夫	星加廣保	小田英勝	小田雅二	田中巧	旗手恵子	堀田成郎	渡辺富久馬
開催日	開催会議名・主な内容														
9/4	第3回定例会(条例制定など)		○	○	○	○	○	○	○	○	早	○	○	○	○
9/10	第3回定例会(補正予算採決)		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
9/11	第3回定例会(一般質問)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/18	第3回定例会(決算認定など)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
開催日数計		4日	出席日数計		4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4

(2) 委員会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 -：所屬外

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	北藤利通	志村國昭	浜頭勝	前崎茂	佐藤春一	山谷照夫	星加廣保	小田英勝	小田雅二	田中巧	旗手恵子	堀田成郎	渡辺富久馬
開催日	開催会議名・主な内容														
8/11	第3回議会広報特別委員会		-	○	○	○	-	○	×	-	-	○	-	-	○
8/19	第3回産業常任委員会		-	○	○	-	-	-	○	○	-	○	○	-	○
8/24	第4回総務常任委員会		○	-	-	○	○	○	-	-	○	-	-	○	○
9/1	第5回議会運営委員会		○	-	-	○	○	-	-	○	×	-	-	○	○
9/4	決算審査特別委員会(正副委員長互選)		○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
9/4	予算審査特別委員会(正副委員長互選)		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-
9/10	予算審査特別委員会(補正)		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-
9/14	決算審査特別委員会		○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
9/16	決算審査特別委員会		○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	遅	-
9/17	決算審査特別委員会		○	○	-	○	○	○	○	早	○	○	○	○	-

※渡辺議員は議長のため、総務・産業・広報の各委員会に所屬していませんがオブザーバーとして出席しています。

※予算審査特別委員会は議長を除く議員で構成されています。

※決算審査特別委員会は議長、議選監査委員を除く議員で構成されています。

(3) 議員協議会・研修・その他

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 -：対象外

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	北藤利通	志村國昭	浜頭勝	前崎茂	佐藤春一	山谷照夫	星加廣保	小田英勝	小田雅二	田中巧	旗手恵子	堀田成郎	渡辺富久馬
開催日	開催会議名・主な内容														
7/7～8	全道議員研修会(札幌市)		○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○
7/21～22	新任議員研修会(札幌市)		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8/27	芽室町・広尾町議員交流・研修会		○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
9/10	第2回議員協議会		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○

議会のこと

教えて! さーたちゃん

①



議会のしくみを勉強中



議会は年に何回開かれていますの?



議会の「定例会」は3月、6月、9月、12月の年4回開く決まりになっているんだよ。「臨時会」は急いで決めなければならないことがある時に開かれることになっているよ。



謝礼品は海産物セット

問 寄附者に贈る謝礼の内容は。

答 海産物のセットを贈っている。寄附額が1万円以上5万円未満で3千円以内の品物、5万円以上10万円未満で5千円以内の品物、10万円以上1万円以内の品物としている。

ふるさと納税

予算審査特別委員会

委員長 前崎 茂
副委員長 小田 雅二

9/4, 10

一般会計ほか7会計の平成27年度補正予算案8件を、9月4日に設置された予算審査特別委員会に付託。同委員会で審査を行い、全補正予算を原案のとおり可決すべきと決定しました。

平成27年度
ふるさと納税の実績

158件 352万2000円

(4月～9月末まで)

※約8割が寄附額1万円以上5万円未満

地域おこし協力隊

問 地域おこし協力隊関連費用(報酬、委託料)の詳細は。

答 10月から3人に委嘱することを想定した予算。報酬は月25万円を6か月、3人分で450万円。委託料は報酬以外の経費として、車両費、パソコン借上料、コピー、ライター人件費、管

地域おこし協力隊員の業務

- ①「観光振興」(水産商工観光課委嘱)
 - ・観光イベントの企画運営
 - ・観光協会事務局の運営管理
- ②「広尾ブランドの確立」
(水産商工観光課委嘱)
 - ・広尾ブランド推進体制の確立
 - ・ふるさと納税関連事務
- ③「移住・定住の促進」(企画課委嘱)
 - ・移住・定住事業の推進
 - ・地域全体の維持・活性化

問 3人の協力隊員はどんな業務を行うのか。

答 勤務形態は、業務内容は右のとおり。勤務時間は職員と同じく常勤の形となる。

問 報酬月額最低は15万4800円、最高は20万5000円。

答 高く設定している。本町を除く十勝管内の報酬月額最低は15万4800円、最高は20万5000円。

平成27年度 補正予算の内訳

一般会計 ③	103億8393万円	2億1563万円	増
港湾管理特別会計 ②	1億4835万円	135万円	増
簡易水道事業特別会計 ②	6567万円	21万円	減
下水道事業特別会計 ②	4億7321万円	11万円	減
国保事業勘定特別会計 ②	13億1737万円	853万円	増
介護保険特別会計 ②	6億9687万円	883万円	増
介護サービス事業特別会計 ②	2億6869万円	56万円	増
後期高齢者医療特別会計 ①	1億744万円		※増減なし 財源内訳の補正

※会計名の後の丸数字は補正回数 (1万円未満切り捨て)

グループホーム建設

問 障がい者グループホーム建設にかかる国の補助金はなぜ不採択になったのか。施設建設の事業費はいくらか。

答 国の補助金に全国から65件の申請があり、優先度などを考慮した採択数は25件となったので、残念ながら本町の申請は不採択となったが、民間事業者から「地域の要望が強いので、年度内にグループホーム単体の建設を行いたい。」との話があった。

施設解体撤去

総事業費3000万円に対し、町に建設費補助の要請があったので補助金500万円の補正予算を計上した。

問 旧職業訓練センター、旧陶芸棟などの施設解体撤去工事の予算をなぜこの時期に補正するのか。

答 冬期間の雇用対策を兼ねていることと、財源確保の面からも決算時期である今回の計上となった。

次のページは「一般質問」
「出産祝金・冬期雇用対策・教員住宅」

ズバリ 町政を問う 一般質問

一般質問とは・・・

議員が定例議会で町長など執行機関の考え方について、報告や説明を求めたり、疑問をたずねることで、

広尾町議会では1回目は一括質問方式、2回目以降は一問一答方式となっています。

9月定例会では、5人の議員が一般質問を行いました。



広尾サンタランドマスコットキャラクター「さーたちん」

●一般質問 項目一覧

前崎 茂議員	出産祝金制度の創設を	P12
	季節労働者の冬期雇用対策を	P13
	教員住宅の改修・環境整備を	P13
小田英勝議員	未利用施設への対応急げ	P14
	信頼できる町営牧場に	P14

旗手恵子議員	公的介護保障の拡充を	P15
	午後も送迎バスの運行を	P15
	外国軍の訓練参加、中止求めるべき	P16
小田雅二議員	ゴミ処理の周知徹底を	P16
浜頭 勝議員	冬の運動環境の充実を	P17
	屋外球技場の整備方針は	P17

質問

少子化に歯止めをかけるため対策を講じている福島県祭町では「すずやか赤ちゃん誕生祝金」制度を設け、第2子までは10万円、第3子は100万円、第4子は150万円、第5子以降は200万円を支給し子育て支援をしている。十勝管内では池田町、中札内村、浦幌町、更別村、士幌町、新得町、足寄町、豊頃町の8町村が、出産祝金を支給し、子育て支援を行なっている。



前崎 茂 議員

答弁 村瀬町長

保育料軽減や中学生までの医療費無料化など保護者の負担を軽減する施策を実施している。今後もし子育て支援、人口減少対策のため保護者のニーズに応じた施策を積極的に推進していく。また、平成28年度に統合保育所に併設して子育て支援センターも開設する。子育て中の親子の交流、育児相談等充実を図っていききたい。祝い金制度導入については、財政状況を考慮しつつ、先進事例を参考にさせていただく。

出産祝金制度の創設を

町長 他の負担軽減策を推進する

十勝管内の主な出産祝金制度実施市町村

(単位：万円)

町村名	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子	
新得町	10	10	30	50	100	※平成27年度～
豊頃町	10	20	30	30	30	※平成27年度～
士幌町	3	3	15	25	50	※平成19年度～

季節労働者の冬期雇用対策を

町長 工夫して事業を確保する

質問

本町の季節労働者冬期雇用対策

事業は、平成24年度以降実施していない。管内における季節労働者の冬期間の生活を支援する雇用対策事業として、大樹町本別町、上土幌町、土幌町、幕別町、中札内村、清水町など12月から翌年4月にかけて、町単独で実施している。

1 点目、本町の職種別季節労働者等の実態はどのように把握されているのか。

2 点目、本町においても冬期の季節労働者雇用対策を実施すべきと思うが。

答弁

村瀬町長

本町の季節労働者の職種別実態は次のとおり。

平成25年度 季節労働者職種別の実態

産業別	人数
農林漁業	64人
建設業	91人
製造業	48人
運輸・郵便業	3人
その他	41人
計	247人

季節労働者の冬期就労の場を確保するため、旧公共施設の解体撤去工事を実施する。工夫をしながら、冬にできる事業を確保していきたい。



旧施設の解体工事を冬期に実施

教員住宅の改修・環境整備を

町長 状況に合わせて対応する

質問

本町市街地の教員住宅は、築35

年以上経過している住宅が、全教員住宅の9割を超えており、外壁の塗装も劣化し、玄関前の通路も砂利等が十分に敷設されていないため、住環境は劣悪な状況となっている。通路側の砂利等についても凍上防止砂利等の置き換えをするなど、教員委員会が一定の整備をしなければならぬと考える。

教職員が安心して、教育行政により専念できるような環境整備に配慮すべきでは。

答弁

笹原教育長

要望を踏まえ、緊急性等を考慮した改修を順次進めている。少子化等により児童生徒数・教員数が減っているため、教員住宅の必要戸数等を十分検討し、老朽化した施設への対応を進める。

教員住宅周辺の環境整備は、基本的には入居者の責任で実施するとしているが、昔と違い単身者が多い状況もあり、庭等を整備する環境にない。

周りの住宅への影響も踏まえ、



老朽化している教員住宅

未利用施設への対応急げ



こ だ 小田英勝 議員

町長 国の支援活用し、計画的に整備

質問

広尾町が所有する未利用施設について、旧シーサイドパークの海洋レストハウスをはじめ、学校統廃合後の教員住宅、公民館など枚挙にいとまがない。過般の総務常任委員会でも国の助成金があるうちに広尾町も対策を講じた方がよいと提案したところだが、その後の状況はどうなのか。

答弁 村瀬町長

老朽化が進む未利用施設は、過疎債を活用して解体撤去を実施している。今後は公共施設等統合管理計画を策定し、国の支



旧シーサイドパーク海洋レストハウス

援策を活用しながら計画的に整備を図る。空き家等に関する特別措置法が本年5月に全面施行された。民間等への直接補助ではなく、市町村が除去する費用を民間に補助する時に、その補助額の一部を国が市町村に補助するものである。現在町内の空き家実態調査を行っており、空き家管理に関する条例を3月に提案する予定で作業を進めている。

こ だ 小田英勝 議員

信頼できる町営牧場に

町長 効果的な対策を検討

質問

オソウシ町営牧場において病気が発生し、育成牛の一部が死亡、大量の病弱牛が出たとのことだが、その実態と今後の対策、取り組みについて抜本的な対策が必要ではないか。

答弁 村瀬町長

オソウシ牧場で発生したピロプラズマ病の対策として、家畜保健所の指導を受け、殺ダニ剤を7月から9月上旬まで、牛

広尾町は農林水産業の3本で成り立っている。その礎の元種がオソウシの町営牧場である。今回のダニは鹿に由来するものとはつきりしているのでもそれを断つ方法、対策をしっかりと取り、オソウシは安心で信頼に足る牧場だということを具体的に示してほしい。

頭検査も行っている。牛の変化を早期に発見できるように努め、体調に変化があるときは速やかに獣医師に相談し、対応する体制としている。また、草刈り等で原因となるダニの待機場所を最小限にするよう努めている。一つの案として、鹿対策の柵



オソウシ牧場から退牧 (10月16日)

公的介護保障の拡充を



はたて 旗手恵子 議員

町長 国へ制度の継続・拡充を要望

質問

介護報酬削減は、介護事業所の運営を厳しくし、サービスの低下、介護職員待遇改善の妨げになり、人材不足解消に逆行する。国に報酬切り下げ撤回を求めるべき。

8月から介護施設入居者の「補足給付」に資産要件と2割負担が導入された。調査方法など、プライバシー侵害になるのでは。補足給付を受けられなくなり、負担増となった人は、過度な負担とならない対応を。

要支援サービス見直し「総合事業」への移行は、現行の報酬単価の保障が必要と思うがどうか。

答弁 村瀬町長

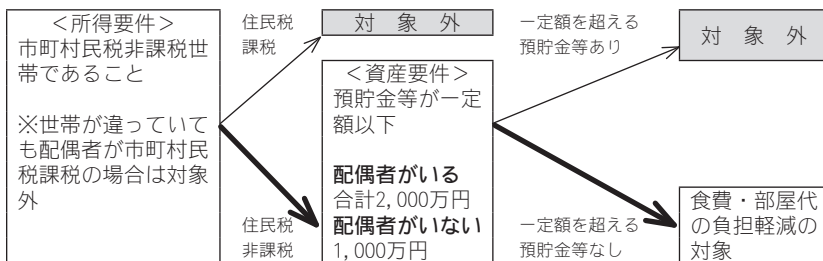
介護職員の人材不足解消は大きな課題である。町村会に問題提起し、国に対しての取り組みを進めていく。

本町の補足給付対象者は6人で、実際に負担が増える方もいる。対象者の日常生活をしっかりと見

守る体制を取っていききたい。要支援者の訪問、通所

介護を介護保険の対象から外し、市町村の地域支援事業で実施することになり、本町は平成29年4月から移行する。社会福祉協議会が実施する在宅福祉サービス事業への支援を行い、従来どおりのサービスを維持したいと考えている。

＜補足給付（食費・部屋代の負担軽減）対象者判定の流れ＞※H27.8月から



はたて 旗手恵子 議員

午後も送迎バスの運行を

質問

高齢者の経済状況は、厳しいなかで、町立病院の患者送迎バスは、「本当に助かる」と言われている。そんななか、午後の診療に合わせたバスの送迎を望む声が寄せられている。

整形外科や眼科の検査等で午後の診療になる時、「タクシーで往復するのは大変」という。一人一人の要望に100%答えることはできないまでも、要望に応える努力をするべきでは。

答弁 村瀬町長

患者送迎バスの運行は月曜日から金曜日の午前中が市街地、月、火、木曜日の午後が野塚、豊似音調津である。運行についてはバス1台、運転手1人の体制で公務補が業務を兼任している。

午後の診療に合わせた送迎を希望する声があるとのことだが、どのような住民の要望があるのか調査を行い、検討する。

町長 要望を調査して検討する

患者送迎バスの運行スケジュール

	市街地	野塚・豊似音調津
運行曜日	月～金	月・火・木
運行時間	午前	午後



町立病院送迎バスの運行拡充を



次のページも「一般質問」
「災害訓練・ゴミ処理・体力づくり・球技場整備」

外国軍の訓練参加、中止求めるべき

町長 総合的に判断して決定

質問

陸上自衛隊北部方面隊が実施する災害対処訓練「ノーザン・レスキュー2015」に在日米軍と豪州軍が参加することが公表され、後半は道東の自治体も参加して実動訓練を行うとされた。

道から訓練実施依頼の文書が、本町にも送られたというが、経過説明を。本町の地域防災計画に外国軍は一切位置づけられておらず、災害への対処は道と市町村、関係機関が力を合わせ、地域の防災力、消防力を高める方向で努力すべき。外国軍の参加、中止を求めるべきではないか。

答弁 村瀬町長

4月に第4普通科連隊、5月に陸上自衛隊第5旅団長が来庁し概要説明があった。その後、北部方面本部第5旅団司令部、第4普通科連隊がそれぞれ数回来庁し、米軍との合同訓練について説明があった。6月に総合的に

判断し、米軍との合同訓練については断ったところである。

8月29日に広尾町、陸上自衛隊第5旅団、広尾海上保安署、広尾消防署による合同災害対処訓練を実施した。

来年以降、外国軍との訓練依頼があった場合は関係機関と協議し、総合的に判断する



8月29日に行われた合同訓練

質問

使用済スプレー缶やボンベ缶をゴミとして出す際、広尾町も自分で穴をあけることになっているが、札幌市等では穴あけが適切になされず、引火による死亡事故まで起きている。このため、自治体によっては穴あけ作業をしないように処理方法を変更している。住民側での混乱を避けるためにも周知の徹底が必要では。また、生ごみの水切り不徹底さが広尾町の特質として指摘されている。それについても、町から住民へ強く要望あるいは指導していくべきではないか。



おだ 小田雅二 議員

ゴミ処理の周知徹底を

町長

町広報、防災無線で周知する

答弁 村瀬町長

本町では穴あけ作業中の家庭内での火災、ごみ収集中の収集車の爆発などの事故は起きていないが、南十勝環境衛生センターで破碎処理を行う際に缶が破裂することが年に数回あり、過去に火が出たこともあるため、住民には穴あけをお願いしている。

旬の魚が揚がる時期になると、生ごみの水分が多くなる。水分が多いことで焼却施設の性能に影響を与えている。

広報紙や防災



ごみの分別、生ごみの水切りに協力を

冬の運動環境の充実を



はまがしら
浜頭 勝 議員

教育長 施設整備は困難、ソフト面を充実

質問

冬の北海道では、どうしても運動不足になりがちである。

春先から秋にかけて普通に行うことができる散歩やパークゴルフ等は、冬期間は大変難しい状況である。成長期の子どもたちにとっても、寒さ厳しい冬はできる運動も限られ、決して好ましいとは言えない状況である。

総合的な体力づくりに良いと言われる水泳をはじめ、いろいろなスポーツを行うためには、ある程度の環境整備が必要と思いがどのように考えているのか。

答弁

笹原教育長

冬期間の運動の場として、町営スキー場や広尾小学校の特設スケートリンク、青少年研修センターや勤労者体育センター等の既存施設を利用して体力づくりに取り組んでいる。

冬期の専用施設を作るのは難しいが、アイスストッカーや雪合戦など子

どもたちの体力づくりにつながるソフト面を取り組んでいきたい。

また、プールを冬期に使用するには、温水の確保や施設自体の断熱化工事・暖房化整備など大がかりな変更が必要となる維持費等も含めて調査をしていきたい。



冬も楽しく体力づくりを

はまがしら
浜頭 勝 議員

屋外球技場の整備方針は

町長 良好な環境整備を行う

質問

コミュニケーションパーク及び町営野球場の整備については、あまり経費をかけずにできる範囲で必要に応じて整備を行ってきたいと思うが、まだ足りない部分も多々ある。特にトイレに関しては、簡易なキャブトイレが2個程度設置されているに過ぎず、各種大会を開催するにあたって、更衣室やトイレの要望が多数あると聞く。

施設整備については、時には必要最小限、また時には長い目で見て大がかりに行うなど、メリハリが必要と思うが、今後の方針については、どのように考えているのか。

答弁

笹原教育長

野球場に設置しているキャブトイレについては、利用者からの改善要望があり、昨年トイレにファンをつける改修を行った。

大きな大会がある場合は、簡易トイレを増設するなど対応をしていきたい。

両施設とも隣接あるいは周囲に体育館等の屋内施設がないため、改めて常設のトイレや更衣室の施設整備は難しいが、今後も清掃を

行う等良好な環境整備をしていきたい。



町営野球場のキャブトイレを改修

次のページは「常任委員会」

考えた!



総務常任委員会

委員長 山谷照夫 副委員長 北藤利通

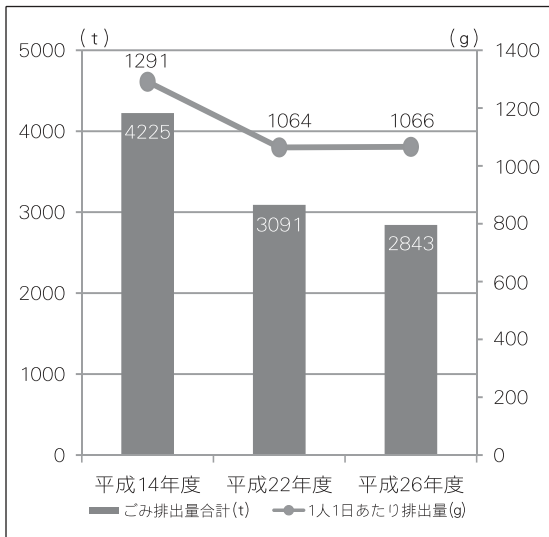
調査日 平成27年 8月24日

ごみ処理の 現状と課題は

南十勝環境衛生センターを視察

所管事務調査

広尾町のごみ排出量の推移



ごみの量は年々減少

南十勝環境衛生センター（南十勝複合事務組合所管）ごみ焼却施設の現地視察を行い、現状と課題についてセンター職員、町から説明を受けた。

施設は老朽化

平成26年度の構成3町（広尾町・大樹町・幕別町忠類）からのごみ排出量は5375トンで、前年比97・1%となった。広尾町の平成26年度のごみ排出量は2843トンで、ごみ有料化前の平成14年度排出量の67・3%となり、大幅に減少している。（左グラフ参照）しかし、1日1人あたりのごみ排出量は平成24年度で1059グラムであり、全道平均（1004グラム）、十勝平均（884グラム）と比べると多い結果となっている。

平成26年度の構成3町（広尾町・大樹町・幕別町忠類）からのごみ排出量は5375トンで、前年比97・1%となった。広尾町の平成26年度のごみ排出量は2843トンで、ごみ有料化前の平成14年度排出量の67・3%となり、大幅に減少して

平成26年度に施設の精密機能検査を実施したところ、ただちに支障を及ぼす損傷箇所は少ないが、ごみ焼却施設は稼働21年と耐用年数に差し掛かっていることから、毎年の整備・補修を着実に実施する必要がある。



ごみ処理の現場を視察

問 十勝環境複合事務組合が運営する「くりりんセンター」（帯広市）との統合に向けての検討状況は。

答 くりりんセンターの次期施設供用開始が平成38年に予定されており、平成30年度には計画を策定すること。そのため、統合するか現施設を延命して使用していくか、計画策定までに結論を出す必要がある。

問 ごみの質改善に向け、分別や水切りの徹底など住民への啓発が必要では。

答 町広報紙、防災無線に加え、各町内会などを通じ、周知、啓発を

問 3町のごみを受け入れる南十勝環境衛生センター



3町のごみを受け入れる南十勝環境衛生センター

問 ダイオキシンの数値などの状況は。

答 年1回、法的な検査を実施しており、濃度などは問題のない状況強化していく。

今回の調査で、広尾町のごみは水分が多いため指摘がセンターからありました。生ごみは水をよく切って出すようにしましょう。

産業常任委員会

委員長 田中 巧 副委員長 浜頭 勝

調査日 平成27年 8月19日

漁協冷凍・冷蔵 施設の現状は

現地視察も実施

広尾漁業協同組合の冷凍・冷蔵施設について現地視察を行い、現状などについて広尾漁協、町から説明を受けた。製氷貯氷施設が築34年を経過し、施設の老朽化から外壁や屋根などの修理が必要となるなど、今後の維持費が多額となることから、広尾漁協では新施設の建設を検討しているとのことであった。

冷凍冷蔵施設は、冷却の冷媒として使っているフロンガスが平成32年以降国内で製造禁止となり、実質使用できなくなることから、冷媒をアンモニアガスなどに切り替える必要があるとのことであった。

漁協 平成30年を目標に

製氷貯氷施設の新設を検討

見た！
聞いた！



ひろお

常任委員会

冷凍・冷蔵関連施設の概要

	製氷貯氷施設	冷凍冷蔵施設
設置年度	昭和55年度	平成7年度
所在地	会所前3丁目	会所前3丁目
能力等	製氷能力 70トン/日 貯氷能力 1100トン	凍結処理能力 22.5トン/日 冷蔵 1498トン
事業費	4億6920万円	2億8576万円

氷の製造・販売状況

年度	数量	金額
平成26年	6386トン	5260万円
平成25年	5190トン	5129万円
平成24年	6859トン	5288万円



貯氷能力1100トンの施設を視察

問 新設する施設の内容は。事業主体は漁協、建設目標は平成30年度、製氷能力は40トン程度、

答 冷凍冷蔵施設は冷媒の変更を検討すること、施設増設の考えは聞いていない。

問 冷凍冷蔵施設も手狭になっていると聞いていますが、製氷施設新設に合わせて増設などする考えはあるか。

答 冷凍冷蔵施設も手狭になってきていると聞いていますが、製氷施設新設に合わせて増設などする考えはあるか。

問 貯氷能力1100トン程度の施設を見込んでいる。施設新設に対する町の支援策は。

答 産業振興の面からも支援が必要。漁協と今後具体的に協議していく。

次のページは
「議会日誌・ざかいトピックス」

議会活動日誌

平成27年9月～平成27年11月

【9月】

- 1日 第5回議会運営委員会
- 4日 第3回広尾町議会定例会（～18日）
- 5日 広尾町地域開発推進協議会総会
- 9日 市街地区敬老会
- 10日 第2回議員協議会
- 13日 福祉まつり及び高齢者芸能発表会
- 14日 決算審査特別委員会（～17日）
養護老人ホーム、特養、なごみ合同敬老会
- 15日 紋別町内会秋まつり
- 20日 開町記念式典
- 21日 十勝神社秋季例大祭

【10月】

- 12日 海上自衛隊多用途支援艦「すおう」入港歓迎式
- 15日 十勝港まつり協賛会代表者並びに執行者会議
自由民主党ふるさと対話集会（大樹町）
- 16日 広尾高校存続にかかる要請活動（札幌市）
- 17日 第4普通科第2中隊と広尾町自衛隊協力会との
親睦パークゴルフ大会
- 19日 総務常任委員会行政視察（～20日、ニセコ町・
喜茂別町）
- 23日 十勝町村議会議長会議員研修会（士幌町）
- 24日 サンタランドツリー点灯式
- 26日 浦幌町議会総務文教厚生常任委員会行政視察来町
- 27日 産業常任委員会行政視察（～28日、小樽市・余
市町）
- 30日 高齢者スポーツ大会

【11月】

- 8日 東京広尾会（東京都）
- 9日 高規格道路整備にかかる中央要望（東京都）
- 11日 第59回町村議会議長全国大会（東京都）
- 13日 第2回広尾町議会臨時会
第4回議会広報特別委員会
正副議長・委員長会議
- 14日 自民党北海道第11選挙区支部「政経セミナー」
（幕別町）
- 27日 十勝圏複合事務組合議会定例会（帯広市）
十勝環境複合事務組合議会定例会（帯広市）

閉会中の所管事務調査

各常任委員会と議会運営委員会は、平成27年第4回定例会までの閉会中に、次の所管事務調査を実施します。

◇総務常任委員会

- ①先進地における高校存続の取り組みについて
- ②先進地における地域おこし協力隊の事例について

◇産業常任委員会

- ①先進地における漁業施設の現状について

◇議会運営委員会

- ①議会の運営に関する事項について
- ②議会の会議規則、委員会条例等に関する事項について
- ③議長の諮問に関する事項について

ぎがイトピックス

8 / 27 芽室町議会議員と交流研修

「海のみち」広尾町と「山のみち」芽室町は昭和62年の「ふれあい宣言」を契機に行政、文化、スポーツ事業を通じて住民相互の交流を深めています。

その一環として、隔年で実施している議員交流を広尾町で開催しました。芽室町からは広瀬重雄議長ほか議員15名と事務局職員2名が来町。新築された統合保育所の視察、昨年度まで2年間にわたり実施された「ひろお未来塾」の取り組みについて研修した後、懇親会を開催し、親睦を深めました。



9 / 4 北海道議長会から表彰

小田英勝議員は町議会議員として15年以上在職し、地方自治の振興発展に寄与した功績が認められ、このほど北海道町村議会議長会から表彰されました。表彰状は、9月定例会の冒頭に渡辺富久馬議長から伝達されました。

